



主催者の筆頭に名を連ねる黒田征太郎氏(写真上)と近藤等則氏。黒田氏の写真は同イベントのキービジュアルをライブペインティングで表現したもの、左にキノコ雲、相似形を成すように右には水を器のようなものが描かれている。発起人に名を連ねるの他に、荒木経惟氏、安藤忠雄氏ら



この言葉から、改めて向き合おう。

「ピカドン」の小学生は知っているのだろうか。60年前の8

月6日、広島に「Little Boy」が投下された。言わずと知れた原子爆弾である。「ピカドン」と光って「ドン」と鳴る。この擬音は今にして思えば、シャレにならない不謹慎な言葉のような気もするが、画家・黒田征太郎氏と、京都にも縁の深い近藤等則氏が発起人となり、「大きなエネルギーを表す言葉」として「肯定的に」捉えたのが同イベントである。両氏が各地を巡り、当地の若手たちとともにパフォーマンスを通して平和をアピールする。

「東京のような大規模な空襲もなく、広島や長崎のような目に見える傷跡もなく、

第二十五幕「打掛け」編

嶋原司の 「こったい花語」

太夫とは？

「正五位」の別称で、歌舞音曲の他、茶・草・香・歌など公家や武家の奥方同様の知識を持った芸妓に与えられた妓女の最高官位のこと。現在は6花街のうち京都・嵯峨のみに4人現存し、司太夫はその内のお一方。中学卒業後祇園甲部で舞妓となり、6年間務めその後太夫への道に進む。芸事他、日本画・写真・手紙を勉強し、フリーペーパー「こったい新聞」の発行やイベント企画など活動の場は広い。

打掛けの
重みも位の
パロメーター



Tsukasa



司事務所
075-594-0568
<http://kyoto.cool.ne.jp/tukasa21>

「打掛けは、結婚式の時お嫁さんが着るもの」と言うのは、世間では当たり前の事。けど、世間広しと言えど、花街で打掛けを着ることを許されてるのはうちら太夫だけです。この打掛けと言うのは「位」が与えられてるから着用を許されてんのです。時代劇をお見やしたらお解りやすうに、武家の妻でも身分が上やと着られます。

物としては、織物・友禅、刺繍やと様々おして、裾に縁がたん入り、織物やとかなり重とおすえ。それを「シラ〜ッ」とした顔で「重たいことおへん」と言う感じで着んのです。冬場はよろしいのですけど、夏は暑おしてね、大変おすえ。以前にも書いた「そんなり(04年10月号 No.249 参照)」の時も薄いのを着んのです。

太夫には側に「引舟」というマネージャー的なお姉さんが付くんですけど、この人に下の着物(内着)と打掛けを一緒に合わせて裾を持たせてもらいます。舞妓のように軽くないので、1人で持とうとすると、重みて上がりきらへんかったり、裾がハダハダになんのです。キレイな姿してますけど結構、重労働おすえ。



京都CF!

専任の大人気雑誌、
加入マガジン
【シー・エフ】

を創りたい人、 募集中!

現在、「京都CF!」では、編集制作のアシスタントをして下さる方を募集しています。「京都CF!」が好きな方、京の街を遊びまわるのが好きな方、原稿を書きたい方、雑誌編集に興味がある方、ぜひご応募下さい。

私たちと一緒に「京都CF!」を創ってみませんか?

まずは郵送にて

「履歴書」

「京都CF!でやりたいこと(400字程度、書式不問)」

をお送り下さい。

●問い合わせ先

京都CF! 編集部

アシスタント募集係 担当: 坂東(ばんどう)

〒604-8134

京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル2F

E-mail: bando@m21.or.jp

※今回の募集は社員募集ではありません

のでご了承ください。

※今回電話での応募・ご質問は受け付けておりません

のでご了承ください。

●PIKADON Art Live in KYOTO

開催日時 ■平成17年8月16日(火) 13:00~18:00

開催場所 ■KBSホール 京都市上京区烏丸上長者町

主催 ■PIKADON (ピカドン) プロジェクト実行委員会

出演 ■黒田征太郎(アーティスト)・近藤等則(ミュージシャン)

フジミツグ(イラストレーター)・足田メロウ(画家)

野村麻紀(歌)・今村知晃(詩人)・谷草一(詩人)・chori(詩人)

問い合わせ ■PIKADON Project KYOTO

<http://www.pikadon.jp/top.html>

Eメール ■pikadonkyoto@yahoo.co.jp